

2010 年度藤井ゼミ 夏季合宿活動スケジュール

宿泊先 鴨川セミナーハウス

期間 8月23～25日

参加者 学生57名+院生1名+教員1名

4年生19名(9名)、3年生19名(女子6名)、2年生19名(女子8名)

経費

内訳；宿泊費 5,500円

※交通費は各自で計算。経費は現地で徴収。

※自動車使用予定は下記のとおり。

4年；石川・佐藤・河野・上水・森下、久保・生駒、**靱山**・池田・鷺・青木・井手、**唐鎌**・朝倉・狩野、**吉田**・雨宮・関根・馬場

3年；**安達**・木村・西瀧、**山田**・三戸・渋谷・松土、**原**・幅・佐藤・野海

2年；**増田**・萱野、**宇津木**・江口・？

8/23

14:30 現地(セミナーハウス)集合(点呼)

☆15:00～15:30：会議室

全体ミーティング(部屋割り、スケジュールの確認、注意、チェック・イン)

16:30～18:00：藤井の部屋

【4年生】卒論指導(石川・生駒・吉田)

18:00 夕食

☆19:00～22:00：会議室

【4年生】卒論指導(前半；上水・池田・狩野、後半；鷺・唐鎌・朝倉)

【3年生】グループごとの勉強会(合同ゼミに関する報告会)

【2年生】グループごとの勉強会(企業調査に関する報告会)

→3年の伊佐・宮本(A)、安達・吉田(B)、つばさ・西瀧(C)、松本・春菜(D)は、最初の30分間は2年生の指導

22:30～23:30：藤井の部屋

3年生共同論文の指導(渋谷、松土、松本)

8/24

7:00 朝食

☆9:00～11:00：会議室

【3年生】グループごとの勉強会(合同ゼミに関する報告会)

【2年生】グループごとの勉強会(企業調査に関する報告会)

☆9:00～10:30 10:30～12:00：会議室

【4年生】卒論指導(前半は井出・関根・青木、後半は佐藤・雨宮・久保)

12:00 昼休み

13:00～16:00 レクリエーション

18:00 夕食

19:30～21:00：藤井の部屋 【2年生】 【3年生】 チーム・レポート提出

→2年生は提出前に、3年の伊佐・宮本(A)、安達・吉田(B)、つばさ・西瀧(C)、松本・春菜(D)のチェックを必ず受けること

21:30～23:30：藤井の部屋 【4年生】卒論指導（馬場・森下・萩山・河野）

8/25

7:00 朝食(朝食後、掃除・後かたづけ)

☆9:30～10:00 ミーティング(会議室)の後、チェック・アウト、解散

諸注意

全般的な注意事項

- ①セミナーハウスは大学のキャンパスと同一であり、一般の宿泊施設とは異なることに注意すること。
- ②下級生は上級生に心して接すること。
- ③他の宿泊客の迷惑になる行為は慎むこと。
- ④喫煙・飲酒は館内では禁止。
- ⑤遅くとも12時には消灯すること。
- ⑥食事時間には決して遅れないこと。

1)4年生の作業課題

合宿では1人当たり30分の面接指導とするが、それ以外の時間は参考文献・ノート・PCを持参するなどして、自主的に卒論作成作業に励むのが望ましい（自主的作業をしている者は随時指導）。

【今後のスケジュール（再確認）】

8月合宿時：4200字(A4用紙3ページ；合宿不参加者は9/1までに6ページ以上)と図表10点以上を提出

10月初旬（秋学期最初のゼミ）：1万字（A4用紙約8ページ）以上と全図表を提出

11月初旬：全原稿提出（以後、添削・指導）

12月初め：教員の認可を経て提出（認可に値しない内容の卒論は提出不可）

（未提出の者は卒論単位・ゼミ単位ともになし。ただし、卒論に準ずる内容のレポートを1月の最初のゼミの時間に提出すれば、ゼミの単位は与える）

2)3年生と2年生のグルーピング

【3年生】

A	原	幅	野海	あゆみ
	もとのり	藤原	松本	はるな
B	山田	三戸	松土	渋谷
C	安達	西瀧	木村	
D	宮本	伊佐	吉田	翼

【2年生】

		PC持参	有価証券 報告書	日経 テレコン	一般 サイト	雑誌記事	企業 サイト
A	任天堂	渡辺	長崎	江口	小林	中島	小林
B	スタバ	鈴木	佐藤	加藤	清水	金子	佐藤
C	トヨタ	増田	神保	増田	萱野	西尾	萱野
D	DOCOMO	宇津木	大井・服部	木村	鳥飼	宇津木	服部

3) 3・2年生の作業内容

【3年生】 グループごとの報告会

全グループが報告書(調査結果のまとめと今後の計画)を作成し、24日夜の指定時間に藤井へ報告

【2年生】 グループごとの報告会 (企業調査と今後の作業予定)

1)作業の進め方

全グループが報告書(調査結果のまとめと今後の計画)を作成し、24日夜の指定時間に藤井へ報告

2)注意点

1.原則 ①現在の戦略の特徴を、これまでの戦略と比べて明らかにする。

②現在の戦略の将来性を述べる。

2.戦略を評価する際のポイント；業界におけるシェア（生産高もしくは販売額・販売量）を基準

→2年生は報告書の作成に際して、上記3年生の指導を受ける。